

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 保健医療学部看護学科

名 前 高橋 公子

作成日 2023年9月27日

1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

人間総合科学大学保健医療学部の教育理念（目的）は、「人間に対する深淵な教養を基に、自立と共生の精神をもって、保健医療に関する職業や社会の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。」であり、教員は、地域包括医療の担い手となる看護師・保健師を養成するために、医療にかかわる専門職業人として身に付けておくべき必須の知識、技能、態度などの実践的能力を学生に習得させ、国家試験に合格させることが最大の使命である。また、どのような健康状態にあっても自分らしい生活を送りたいと願う国民それぞれの価値観に寄り添える人間性の涵養と専門職業人として学ぶ姿勢を持ち続け、医療の発展に貢献できる人材育成をすることが責務と考えている。特に基礎看護教育においてまだ十分な臨床経験を持たない学生達に看護の対象者や医療現場をイメージできるよう、知識を教授していくこととともに将来の医療人としての態度を育むことが私の果たす役割である。

【担当科目】

看護共通技術Ⅰ（必須：1年）

看護共通技術Ⅱ（必修：1年）

看護基礎技術Ⅰ（必須：1年）

看護基礎技術Ⅱ（必修：1年）

看護基礎技術Ⅲ（必修：1年）

看護の展開（必修：2年）

基礎看護実習Ⅰ（必修：1年）

基礎看護実習Ⅱ（必修：2年）

統合実習（必修：4年）

看護研究Ⅱ（必修：4年）

看護研究Ⅲ（選択：4年）

【委員会活動等】

教務委員会

アドミッション委員会

1 学年担任

2. 理念（教育に対する考え方）

看護の道を選んだ理由は人それぞれであり、また、目指す将来像（夢）も様々である。大学生活での学びは、社会人に必要な基礎力と専門職業人として必要な知識・能力を身につけていく他、様々な経験を通し、豊かによりよく生きるための「人間力」を養う場でもある。成功の始まりは夢をもつこと・理想を語ることから始まるが、夢見るだけでは成功することはないはずもなく、日頃の努力と挑戦を継続する実行力、そして何よりも磨かれた人間力が必要となる。漠然と学ぶのではなく、学生自身が思い描いた「夢」や「理想」に向かい、それを具現化させることを目指していけるよう、1人1人を尊重し、真摯に関わることを教育の基盤である考える。

3. 方法（教育方法において大切にしていること）

医療人としての高い倫理観と専門性を持ち、人々の健康と幸福に貢献できる自立した看護専門職業人（プロフェッショナル）の育成を目指して教育活動を行っている。看護は生活を営む「人間対人間」の相互関係から成り立ち、どれだけ相手の心とからだに関心を寄せるかが問われるため、特に講義演習では、実技を単に手順に沿って行うだけでなく、対象者（患者）の気持ちを考えながら、その場に適したコミュニケーションのあり方や方法に対しディスカッションを取り入れるなど、考える授業を目指している。学生自身が確実に身につけるべきこととして重要視していることは、「看護の知識と基本的原理原則に基づく看護技術の習得」と「自ら考え問題解決をする思考を行動に結びつける土台作り」である。医療に関わる専門職として、正しい知識と技術とを兼ね備えることはもちろんのこと、大学を卒業した後も、自分自身で社会のニーズと自己の果たすべき課題を捉え、継続的に学習し続ける姿勢を持ち実践できる者が、社会における責任を果たしていけると考える。

4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

主に担当する科目は基礎看護学に関する授業科目で演習も多く担当している。授業では基礎知識を学び、演習では「知る」段階から「わかる」段階へ引き上げあげられるよう心掛けている。常に学習者の視点を意識してわかりやすい授業を心掛け、演習では頭と身体を使い、取り掛かりやすい楽しい環境を作れるよう複数の教員で事前準備を行い、すすめているが、時々、学生の皆さんから「演習の際、先生によって話すことが違った」等の意見も耳にする。新しい技術を修得する過程は楽しい反面難しいことも多いので、学生の皆さんが不安にならないよう、意見を尊重して授業の修正に活かしつつ、継続的に1人1人の声に耳を傾けるように取り組んでいる

担当した科目は、オムニバス形式が多いが授業評価では全体的に高い評価を得ている。これらの授業科目は看護師国家試験に関連する専門必修科目であり、重要性が高い。学生には早い段階から国家試験を意識させつつ、基盤となる理論と最新の知見とを兼ね備えて、授業を行う必要があると考える。

5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

現在担当している科目のうち、特に演習が含まれる科目では演習前の事前学習の提示、UHAS（大学学生支援ポータルサイト）を利用した知識確認のミニテストを実施している。復習を行う際には確認ミニテストは繰り返し活用ができるようにしているが、さらに効果的な活用の仕方を検討して学生の自主学習支援を行う必要があると考えている。自分の時間にあわせた学習ツールを準備することで、学生の自主的な学習への意欲が高まるものと考えているため、定期試験1か月前までを目安に検討を進めたい。また、今後さらに現場のリアルを伝え考えるために看護技術に関する映像教材を作成し、呈示していくことも必要であると考えているが、内容の精選・点検も必要となるため、次年度に向け調整したい。

* 表紙を含め、全体として、3 ～10 ページ程度とします。

【添付資料】

* TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、
すぐに確認できるようにしておきます。)

資料1：シラバス

資料2：2022 年度 学生授業評価アンケート